

第12回

現場のひらめきをカタチに！

みんなのアイデアde賞

「国際モダンホスピタルショウ2019」では、特別企画として『現場のひらめきをカタチに！ 第12回 みんなのアイデアde賞』を実施しました。

看護業務のみに限らず病院・診療所等、医療施設内のさまざまな部署において、患者さんのケアなどに携わる医療従事者等の着眼によって生み出されたさまざまな改善工夫・アイデアの数々を幅広く募集しました。本年は18団体27作品の応募があり審査会において、グランプリ1点、準グランプリ3点、さらに『International de賞』1点が選ばれました。

審査にあたっては、あらかじめ応募者から提出していただいた「作品を開発・工夫したきっかけ・背景」「作品の特徴・改善工夫のポイント」「使用した時の利点・利便・有効性」「実際の現場での使用状況とその評価」「院内安全委員会で事前に検討されたか」等についてのレポートを中心に、さらにネーミングや、看護する側と看護される側の両方の視点から、その機能等をみた時の具合や、看護の質の向上への貢献度についても加味し、審査されました。



グランプリ
特定医療法人暉純会
榎原温泉病院

災害時用 エアー担架

災害発生時に女性2名で搬送できる軽量、かつコンパクトに収納できる患者搬送用担架。

看護師は女性が多いため、東南海地震等の災害発生時に負担がかからず、患者を避難させる手段として考案しました。階段を使う際にも衝撃が最小限となるようにエアークッションを使用しています。床面と接触する部分にはPPTクラフトシートを使うことで滑りやすく水にも強く、災害発生時には女性一人でも搬送可能です。使用しないときはコンパクトに収納できます。



寝袋を再利用して作成



床面は搬送時に身体の衝撃が少ないように
PPTクラフトシートを利用



バルブを開くと数分で自動的に
マットにエアーが入ります
また収納時にはバルブ調整で
エアーが抜けます



使用時の様子

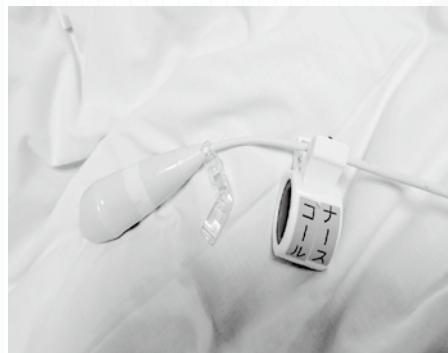
工夫の目的：その他（災害）



どこでも ナースコールクリップ

ナースコールボタンをベッド柵、枕元、手もとなど、どこにでも固定できるクリップ。

患者にとってナースコールシステムはまさに命綱です。一般的には枕元に置かれ、固定時にはベッド柵に結びますが、これが患者・看護師双方の不満に繋がっているようです。ベッド柵、枕元はもちろん、胸元、手もと、さらにポータブルトイレやオーバーヘッドテーブルにも装着でき、転がらない、落ちない、垂れ下がらない固定性抜群のクリップです。





透析穿刺カート

透析の穿刺時に必要な物品の収納と感染性廃棄物の廃棄ボックスを備えたカート。

家庭用ゴミボックスにタイヤをつけ、上段は物品保管、中段はセーフティボトルを入れて鋭利な物の廃棄、下段はブックエンドを利用して足で開閉できる廃棄ボックスにしました。穿刺時やトラブル時等に予想される事態に対応できる必要物品を備え、感染防止に配慮した廃棄物処理も可能です。ベッド間の約1m幅の中でもスムーズで効率的に作業できます。



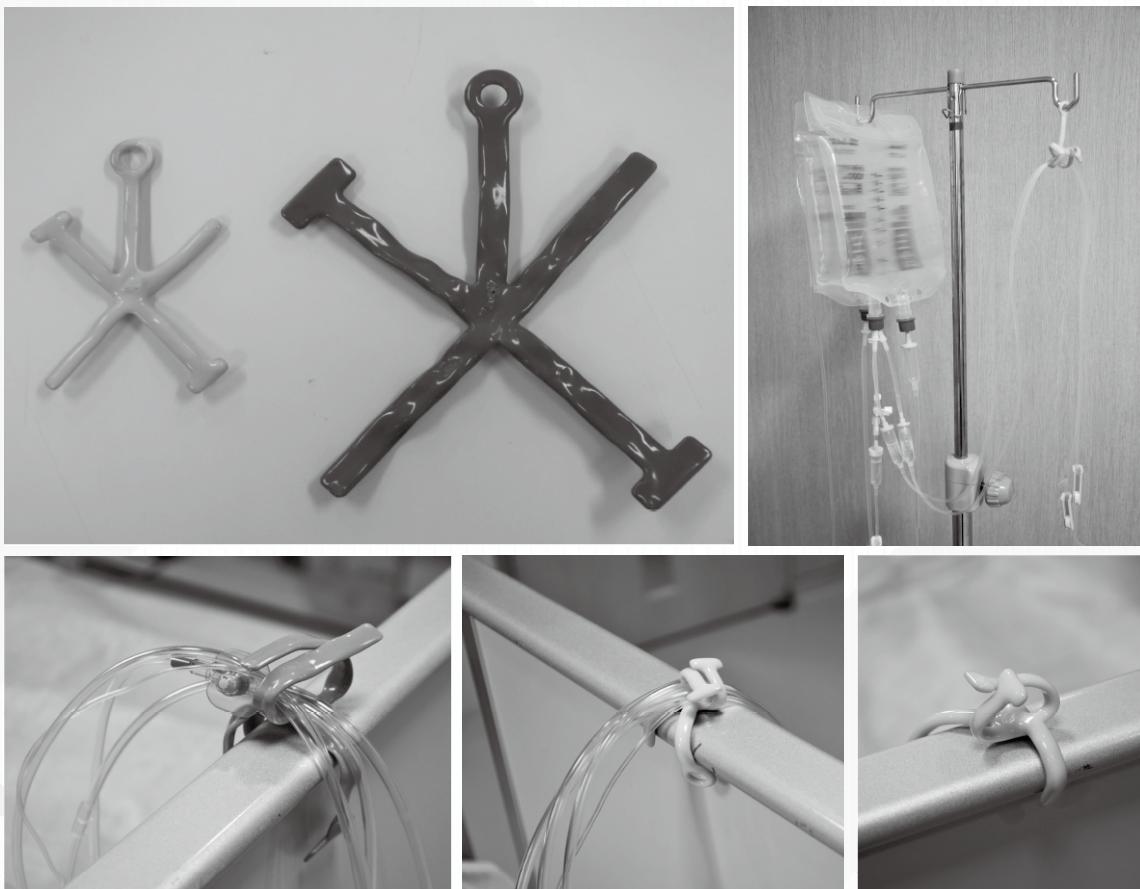
工夫の目的：その他（業務の効率UP）



まとめるヒトデ君

チューブやコード類をまとめる軟金属に塩化ビニールをコーティングした4本足の器具。

ICUでは多くの点滴や医療機器を取り付けるため、ベッド上がチューブやコード類だらけになります。見分けにくかったり、からまつたり、引っ張られて抜けてしまうこともあります。軟金属に塩化ビニールをコーティングし、ベッド柵やシーツに固定できるようにしました。自動洗浄器も使用でき感染対策にも配慮しています。



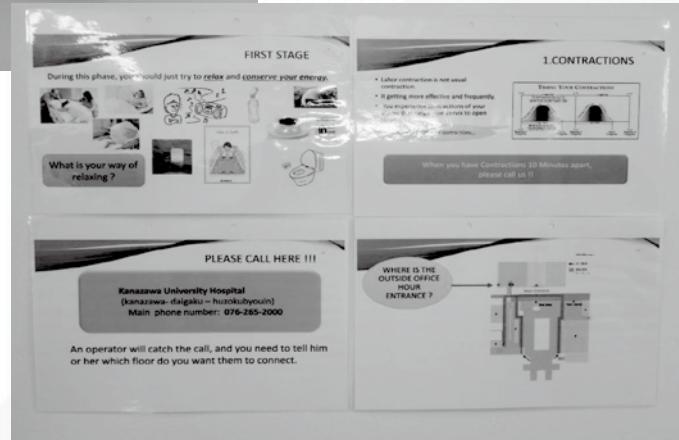
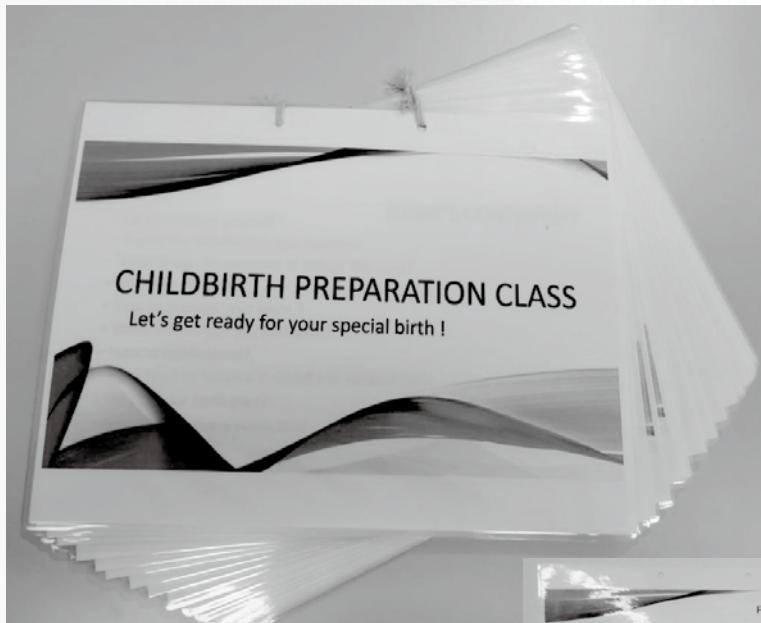


Childbirth Preparation Class

～Let's get ready for your special birth!～

安全なお産のための外国人向けの英語説明書。

日本の施設になじみのない外国人の妊婦向けに、安全なお産をもらうための知識を提供するために、出産前教室用の資料を英語で作成しました。医療用語ではなく、わかりやすい単語を使用し、写真やイラストを用いて視覚的にも伝わりやすいものにしました。病院への電話のかけ方や時間外入口の説明も加えて、スムーズに来院できるような工夫もしました。



工夫の目的：生活支援（QQL向上 等）

応募作品概要

フットサポートプレートカバー

地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター

車いすのフットサポートプレートに足が引っかからないようにするプレートカバー。
足がプレートに引っかかることによる皮膚損傷の事故報告が多くなったことから、綿キルティングとビニール蛇管を使用し、市販品にはないプレート角をカバーできるものを考えました。布とカバーが動くことで、皮膚とのずれが生じにくくなります。

検査用安全ベルト

独立行政法人地域医療機能推進機構
札幌北辰病院

内視鏡検査時に使用する安全ベルト。
内視鏡治療時には鎮静を行うものの、体動が激しくて医療従事者・患者ともに支障が出るケースがあります。拘束感や苦痛なく使用できるよう布やエアークッションなどの素材やベルト位置を工夫したところ、点滴時の抜針やファイバー損傷、検査中断がなくなりました。

きれいに置けるげん

金沢市立病院

ベッドサイドでスプーンや箸を立てかけておく傾斜角度が調整できるスタンド。

コップやガーグルベイスンの中にスプーンや歯ブラシを入れているのを改善し、清潔を保持することを目的に開発をしました。金属製のブックスタンドを利用したため傾斜角度を調整でき、水洗いできる滑り止めによって立てかけたものが倒れません。紛失リスクも低減しました。

輸液ポンプアラーム 遠隔通知システム

医療法人社団寿量会 熊本機能病院

ワイヤレスチャイム(音と光)を使用し、病室で鳴った輸液ポンプのアラームを、ナースステーションに設置した受信機で鳴らすシステム。

病室で輸液ポンプのアラームが鳴っていてもスタッフが気付きにくいので、市販のワイヤレスチャイムを使用し、単純な構造で作成しました。ワイヤレスチャイムの中身を取り出し外装を交換し、輸液ポンプに取り付け、受信機はナースステーションへ設置しました。

Coro-Navi

医療法人社団康心会 湘南東部総合病院

ゴムボールを利用し、冠動脈の位置を示す立体模型。心臓カテーテル室スタッフが診断・治療の進行を正確にイメージできる力を養成するために作成しました。透明なゴムボールにマジックで冠動脈を描くというシンプルなものです。透明なので反対側の枝が透けて見え、アンギオ装置と角度を合わせると立体的に情報が把握できます。

ずれ防止マット

独立行政法人国立病院機構
東徳島医療センター

アテトーゼ型脳性麻痺用のずれ防止（体位安定用）マット。
体幹や頭頸部がよじれて反り返ることが多い、アテトーゼ型脳性麻痺の患者さんの食事介助時に、頻回に体位調整を行うことなく安定した食事姿勢が保持でき誤嚥予防にもなるように考案しました。100円ショップの滑り止めマットを使用、枕とマットを外して洗濯も可能です。

食事傾斜台

特定医療法人暉純会 榊原温泉病院

安静臥床している患者の状態に合わせてベッド上で傾斜角度が調整できる食事台。
入院患者にとって食事は楽しみの一つで、生きがいにもつながる生活行為です。患者個々の身体状況に合わせ、食事台の傾斜角度が自由に変更できます。また、腕と台が接触して皮膚のトラブルにならないように角を削りました。

見守りセンサー

特定医療法人暉純会 榊原温泉病院

認知症患者などが起ち上がるのを検知し知らせるセンサー。
認知症の患者さんは生活リズムを整えるために、日中は離床して車いすで過ごす時間を確保していくのですが、介助なしで立ち上り転倒につながるケースもあります。身体拘束をせずに安全に見守ることができるように、洗濯/バサミと防犯センサーを活用して作成しました。

カーテンクリップ

特定医療法人暉純会 榊原温泉病院

トイレのカーテンに触れずに開閉できるクリップ。
病棟トイレ等のカーテンは排泄物を取り扱うため、感染リスクが高いにもかかわらず、手が触れる部位を拭くことができず、清潔を保持しにくい問題がありました。カーテンに直接触れることがなくなり、クリップを清拭するため感染防止にもつながりました。

身長計

特定医療法人暉純会 榊原温泉病院

身長測定時に円背の患者がスライドに届くように延長をしたスライドのヒット部材。
骨粗鬆症の患者さんの骨密度測定時に身長・体重を測定しますが、円背（腰が前に曲がっている）のために、背中を伸ばしてもスライド部のヒット部材が頭頂部に届かず測定が難しいことがあります。ヒット部を継ぎ足すことで、円背の患者でも容易に測定できます。

液面確認装置、ホルダー及びエアートラップチャンバー

医療法人社団健昌会 新里クリニック浦上

プライミングの状態を屈折変化により模様が変化することで、確認しやすくするトラ模様の液体確認マーク。
人工透析時、透析液が血液回路のエアートラップチャンバー内の規定位置まで満たされているかどうか、液体確認マークを貼付することで、その屈折変化により容易に確認できるようになりました。
ベッドの足下からでも確認が可能で、スムーズな治療開始の一助にもなります。

悠然と友禅

金沢市立病院 看護部

車いすへの移乗などに使用するための、着物の帯をリメイク利用した介助用ベルト。

安全・安価・艶やかの3A作戦として、金沢は友禅が有名であることから、不要になった友禅の帯をリメイクしました。マジックテープでウエストを調整できるように、また身体を支えやすいように背中に持ち手を2カ所設置したこと、小柄な看護師でも樂々と支えられます。

透析用留置針取り外し器具

自治医科大学附属さいたま医療センター
臨床工学部

ルアーロックを片手で回してはずし、市販の針捨て箱に廃棄できる器具。

血液浄化療法の回路に使用されるルアーロックを片手で回してはずし、市販の針捨て箱に廃棄できるようにするために、複雑な機構とせず、ロットリングを押しつけて回転させ、横へスライドさせるだけで、留置針と透析回路を外せることが可能になりました。

お薬開けルンです♪

国立大学法人 金沢大学附属病院
看護部

手指の変形や関節痛などがあり、薬袋を開けられない患者さんのための補助具。

クッキングシートのケースを半分のサイズにしてから、安全のため紙製の刃面にし、耐久性と装飾を兼ねてテープや紙で補強しました。リウマチ等で手指変形のある患者さんでも薬袋が簡単に切れ、力をかけずに開封できます。患者さんから、退院後も使用したいと言われました。

寝たままゴミ捨てボックス

国立大学法人 金沢大学附属病院
看護部

ベッドで寝たままゴミを上手にゴミ箱の中に捨てられるゴミ捨てボックス。

ティッシュを多く使用する鼻や耳の手術や気管切開をした患者さんが、上手にごみを捨てられず床に落としているのを見て、ベッドで寝ながらでもゴミが捨てられるように開発し、ベッド柵に付けても邪魔にならない形状にしました。環境整備においても有効です。

冷え冷えカバー

金沢市立病院 看護部

暑い時期に寝たきりの患者さんの背部をアイシングし汗を吸い取るタオルカバー。

素材は皮膚にやさしく汗も吸収しやすいタオル生地を選択しました。内側のポケットにはアイスノンがずれないように、滑り止めのネットを縫い付けています。寝たきりの患者さんの発汗時に使用しており、効果的なアイシングができます。

一体型トランクス

京都桂病院

心臓カテーテル時、下半身が露出するのを防ぎ、陰部保護もできるパンツ。

大腿部から心臓カテーテルのアプローチをする際、バスタオルで覆うもののほぼ全裸状態となり、患者さんのプライバシー保護と保温、羞恥心が課題でした。一体型のパンツとしたことで「すうすうする」から「安心感がある」という意見を得ることができました。

リハビリテーション 実施管理システム

医療法人金上仁友会 金上病院

リハビリテーションの業務管理のほぼ全てをEXCELで管理するシステム。

手作業では多くの作業時間を要する複雑なリハビリテーションの業務管理を、エクセルを使ってシステムを構築し、デスクワーク時間の短縮に繋がります。まず計画書を作成することで、ほぼ全ての情報管理が可能になります。これらによってよりリハビリ業務に専念し、施術の実施時間が増えました。

樂々点滴カート

公益社団法人地域医療振興協会
東京北医療センター

高齢者用シルバーカートに点滴ポールを固定した手押し車型多機能点滴台。

HCUでは酸素ボンベ、複数の輸液、シリソジポンプ等を搭載した手押し型点滴台での移動が多くなります。高齢者に馴染みのあるブレーキつきのシルバーカートに点滴ポールをつけるというハイブリッド発想で、低重心で安全な手押し車型多機能点滴台を開発しました。

アピアランスケア(頭皮冷却) システム

公益社団法人地域医療振興協会
東京北医療センター

既存の冷房機器を応用した、抗がん剤による脱毛防止用シリコン頭部カバー。

化学療法の際に脱毛防止効果が期待できる頭皮冷却システムが海外にあることを知り、首元を冷やす冷房機器製品を流用し、シリコンで頭部カバーを作りました。小型・軽量・充電式モバイルで持ち運びも簡単です。

ポータブルX線撮影装置用 X線防護衣ハンガー

国立研究開発法人
国立成育医療研究センター

ポータブルX線撮影時に使用する防護衣を折りたたまずにベッドサイドに運べるハンガー。

病棟でポータブルX線撮影を行う際、防護衣を折りたたむと劣化するので、機械の上に積んだり腕に抱えたりしていました。防護衣の形を崩さず一緒に移動できるように、また装置のあらゆる動作に干渉することなく、装置のサイズに収まるように作成しました。

輸液ライン固定具

栃木県済生会 宇都宮病院

らせんウレタンコードとカードリングを使用して作成した輸液ラインの固定具。

長い輸液ラインが床につくのを防止するため、輪ゴムではなく、らせんウレタンコードとカードリングを使用しました。清拭、洗浄ができる清潔保持が容易、絡まず整理も容易、歩行時にラインを踏まない、輪ゴム作成の手間が省ける、見栄えがよいなどの効果が得られました。

